

令和3年度滋賀県レイカディア大学同窓会定期総会ダイジェスト版兼議事録

作成：湖北支部

新型コロナウイルス感染症がいまだに衰えず日々拡大しつつある中での現状を鑑み、定期総会の内容を一部変更して、「ご来賓挨拶」「記念講演」の行事を中止とし、総会出席者を本部三役、常任理事、理事、監事として一般会員の出席はリモートのみとされた。

開催日時：令和3年5月26日（水）13：30～14：40

開催場所：県立長寿社会福祉センター レイカディア大学草津校 大教室

出席者数：27名、リモート出席者18名 計45名 その他4名

I 式次第と概要

1 開会の言葉 司会者

2 物故者への黙祷 令和2年度に亡くなられた同窓会員（22名）に対し黙祷

3 レイカディア賛歌斉唱

4 会長挨拶 堀江会長

昨年の9月22日にレイカディア大学同窓会創立40周年を迎え、令和3年度を「同窓会創立40周年記念事業の実施年度」と位置づけて、新たな情熱を形にして行きたい。その現れとして本部に「記念事業特別委員会」を設けて具体的な事業を立案して行くこととしている。

そして更に、10年後に訪れる50周年をも見据えた事業も行っていきたいと考えている。

5 長寿者慶祝 コロナ禍のため出席者なし

白寿を代表して高山かをる様、米寿を代表して村田久子様の祝詞を堀江会長が読み上げられた。

6 三日月知事からのお祝いの言葉を代読：小島総務研修部会長代読

滋賀県レイカディア大学同窓会設立40周年誠におめでとうございます。

人生100年時代においてシニア世代の皆さまの仲間づくりと健康づくりと生きがいづくりをすすめるレイカディア大学での学び、同窓会活動でのつながりは、皆さまお一人おひとりの幸せのため、また、健康しがをつくるため、とても有効かつ有意義だと考えます。

この度の節目を機にレイカディア大学と同窓会の活動がますます充実発展されますこと、心よりご記念申し上げます。

がんばりましょう！共に…。

令和3年5月26日 滋賀県知事 三日月大造 拝

7 議長・議事録作成者選出

事務局一任の声をいただき、議長に北村孝雄氏（湖北支部）、議事録作成者に前川秀和（湖北支部）を指名

議長登壇、挨拶

II 議事審議

1 第1号議案 令和2年度事業報告

(1) 活動の総括 事業報告：堀江会長

“令和2～3年度への展望をしっかりと持とう”とのキャッチフレーズを掲げて令和2年度

をスタートさせ、令和3年度に滋賀県社会福祉協議会が法人認定70周年になることを機に「滋賀県レイカディア大学の在り方」を抜本的に見直すという取り組みがなされようとする中、県社協のみならず私たち同窓会も母校の発展施策の一翼を担えればという思いを持って広角的な取り組みを指向してきた。

一 命題としては

- ① 過年度の運営課題を洗い出し、令和2年度の運営に反映させ、会員相互の理解と関心を高めるために同窓会本部役員に女性会員の参画を強く望んできました。現在、本部役員30名の中に4名の理事と1名のHP担当者の合計5名のみで、結果としてようやく事務局員に一人の女性会員の活躍を実現できましたが、期待値には届いておらず、引き続き支部長や本部三役での活動の実績が得られるように努力していかねばならない現状にある。
- ② 組織目標である「健康と親睦の推進」「地域社会貢献活動」「母校の発展に寄与」のバランス感覚を見直し、親しみやすく魅力に富んだ同窓会を目指したことについては、各支部の事業計画においてはかなり満足度の高いものが準備されたが、予期せぬコロナ禍に見舞われたためその実戦に歯止めがかかってしまったが、アフターコロナの次年度以降にこそ大きな期待をよせている。

二 具体案としては

- ① “滋賀県レイカディア大学のありかた”に関心を寄せ会員のニーズをくみ上げる
会長が「レイカディア大学ありかた検討懇話会」委員に参画し、提言のとりまとめの機会を得たことにより目的達成のプロセスが動き始めているという実感が得られているので、結果を期待したい。
- ② HPのサイトマップと管理規約を見直しHPの運営に十全を期す
HPの管理班長を先頭に、運営規則や管理機構を刷新し、簡素で分かりやすいサイトマップが実現できた。2014年以来6年間で58,700回以上のアクセスカウントを得られている。
- ③ 男女が協働する組織の定着を期するため役員人選への配慮を願い具現化に努力する
命題の通り最小限度の成果に留まっているので、令和3年度中に下地を作り、令和4年度にはぜひとも期待値に届かせるべく努力目標とする。
- ④ 滋賀県レイカディア大学同窓会の「地域活動の担い手」としての自負と社会的認知度の隔たりを縮めるために行政との連携を強め、何が出来るか主体的に考え実戦する
地域社会貢献活動が評価を得て、市町村広報誌に取り上げられたり、感謝状の贈呈を受けるなど大きく前進していると言える。
支部間格差はあるもののマスメディアやローカルメディアに活動内容が取り上げられるなど着実に成果をあげつつあるが、行政とのタイアップ事業については、今一步と言うレベルに留まっている。

(2) 各部会の活動報告

- ① 総務研修部会 事業報告：小島部会長
 - ・ 令和2年度本部定期総会の開催
令和2年4月22日（水）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため急遽中止し文書議決に変更
 - ・ 「高齢者に役立つ講演会」の開催
米原校 受講者40名、草津校 受講者95名
 - ・ 43期学生募集活動応募要項の配布活動はコロナ禍のため令和3年度に延期
- ② 地域活動部会 事業報告：奥長部会長

- ・ 地域活動の継続と拡大化
草津・米原校の「レイカディアの日」、「コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーン」はコロナ禍のため中止
 - ・ 「美しい湖国をつくる会」活動に参加
環境美化活動に大津支部参加、湖岸クリーンアップ事業に湖北、湖東支部が参加
 - ・ 「地域体験活動学習」への参画
コロナ禍での対応の難しさが苦勞を強いられた。米原校 35 名、草津校 136 名
- ③ 広報情報部会 事業報告：藤田部会長
- ・ 「會報 37 号」の発行
37 号夏号の発行は中止、37 号冬号を発行
 - ・ 同窓会紹介パネルの作成
草津校及び米原校学習成果展示会にパネル展示
 - ・ 同窓会ホームページ管理班事業
サーバー切替え及びHP管理規約の改定を協議、9 月にレンタルサーバーの切り替えを実施しホームページドメインの変更を行った。また、支部単位にサブ FTP アカウントを設定し、謝って他支部や本部のHPを更新することのないようにセキュリティ強化を図った。

2 第 2 号議案 令和 2 年度収支決算報告及び監査報告

収入の部 省略

支出の部 省略

決算報告：藪会計

収入合計 952,458 円 － 支出合計 437,558 円 ＝ 次年度繰越金 514,900 円

監査報告：森井監事

会則第 8 条 3 項（8）に則り、収支決算報告書・証拠書類・諸帳票等の監査を実施した結果、いずれも適正に処理されていることを報告

第 1 号議案、第 2 号議案一括審議の結果、賛成多数で承認を得た。

3 第 3 号議案 令和 3 年度事業計画（案）

(1) 活動の基本方針 提案説明：堀江会長

“同窓会創立 40 周年記念事業の実施年度を意識しよう”

人口が減少し高齢化が進行すると、これまでの多くの既存の仕組みの維持が困難な時代が訪れ、組織の機能の低下が現れ、地域住民の協働意識が薄らぎ、地域力全般の衰えが見えている。

今こそ私たちが長い人生経験の中で培った知恵や知識を役立てて、地域社会の担い手としての出番が来ているものと思う。「滋賀県レイカディア大学のあり方」や「同窓会のあるべき姿」に思いを致し、令和 3 年度の運営に取り組んで行く。

- ① 同窓会員が大切にする価値観をしっかりと持って、次第にあるべき姿に近づけて行けるよう努める。
- ② 同窓会の予算および事業計画は、中期（5 年）・長期（10 年）的な視座に立って、会員の価値観の多様性、個別化に思いが届くように努める。
- ③ 母校と同窓会の充実と発展は、大学、サポートの会、えにしの会、同窓会が「共創意識」

を持って、互いにシェアリングするように働きかける。

- ④ 性別に偏りのない多様な人材に活躍してもらえるような風土づくりを目指す。
- ⑤ 私たち同窓会委員は①会員は「親密」に②活動は「緻密」に③連携は「綿密」にの「3密」を大事にしながら、令和3年度を「同窓会創立40周年記念事業の実施年度」と位置づけて、新たな情熱を形にする。

(2) 各部会の活動計画

- ① 総務研修部会 提案説明：小島部会長
 - ・ 令和3年度定期総会の開催 令和3年5月26日（水）レイカディア大学草津校
 - ・ 43期生募集活動応募要項の配布
 - ・ 無料「必修講座」の聴講 草津校、米原校各々で開催
- ② 地域活動部会 提案説明：奥長部会長
 - ・ 地域活動の継続と拡大化
草津、米原校サポートの会主催事業に参加、コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーン活動への参加、「美しい湖国をつくる会」活動に参加
 - ・ 「第13回地域活動事例発表会」の開催 各支部1テーマ
 - ・ 「地域活動体験学習」への参画
- ③ 広報情報部会・HP管理班 提案説明：藤田部会長
 - ・ 会報「つながり」の年2回発行の継続
 - ・ 同窓会紹介パネルの写真入替
 - ・ 同窓会紹介パンフレット印刷
 - ・ HP管理班
本部HP動画（YouTube）の同窓会IDの新設と移行の実施、HP担当者のスキルアップを図る

(3) 創立40周年記念事業への取り組み 提案説明：堀江会長

記念事業特別委員会（仮称）の設置

委員の指名 木村萩女、福永好子、柴寄久子、堀江勇夫、奥長裕幸、藤田順一、今岡多望
具体的な事業 9月までの開催を目指し、委員会で早急に立案

4 第4号議案 会則の改定 提案説明：今岡事務局長

会則第13条（経費）を改正する。

第13条 本会の経費は年会費、入会金及び寄付金等の収入をもって充てる。

2 年会費は500円とする。但し、満88歳以上の者及び当該年度中に満88歳に達する者については年会費を免状する。

3 新たに入会する者は入会金1,000（本部500円、支部500円）を納付する。

（付則を追加する）

但し、入会が4月になる41期生、42期生については入会金1,000円（本部500円 支部500円）納付を免除する。

5 第5号議案 令和3年度収支予算書（案） 提案説明：藪会計

収入の部 省略

支出の部 省略

第3号議案、第4号議案、第5号議案一括審議の結果、賛成多数で承認を得た。

Ⅲ 閉会挨拶 藤田副会長

以上